

第2期 第6回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会 会議録（書面開催）

- 1 会議名 第2期 第6回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会
- 2 日時 令和2年5月20日（月）
- 3 会場 書面開催
- 4 出席委員 石橋委員（副会長）、石塚委員、井上委員、大坪委員、上遠野委員、久山委員、齋藤委員、田野委員、鶴岡委員（会長）、時任委員、中島委員、藤井委員、降矢委員、宮崎委員 以上14名
- 5 欠席委員 石田委員、稲田委員、岡野委員、西村委員、増田委員 以上5名
- 6 事務局 森田障害福祉課長、秋山健康課長、廣瀬保険年金課長  
田中介護福祉課長、原田地域ケア係長、大川主任、柴田主任
- 7 傍聴人 書面開催のため、なし
- 8 第2期 第6回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会

（1）報告事項

- 報告1 第2回課題検討アンケート（実施期間：令和2年2月～3月）結果について
- 報告2 令和元年度多職種研修会（前協議会以降実施分）について
- 報告3 各専門部会について
- 報告4 令和元年度及び第2期東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会実績について

（2）議題

- 議題1 令和2年度及び第3期の事業計画（案）について
- 議題2 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関することについて

（3）今後の予定について

9 配布資料一覧

○第2期第6回東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会（書面開催）次第

○第2期第6回東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会（書面開催）回答用紙

【資料1】令和元年度 東久留米市在宅医療・介護連携推進事業 課題検討アンケート（第2回結果集計）

【資料2】東久留米市高齢者アンケート調査結果報告（一部抜粋）

【資料3】第2期東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会実績

【資料4】令和2年度東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会スケジュール（案）

## 【資料5】 るるめネット全員参加グループ活用事例紹介

○配布グッズ：みまもりキーホルダー（現物）

### 10 第2期 第6回 東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会の開催

#### (1) 報告事項

【事務局】 下記の報告事項①～④に対するご質問やご感想を頂きたい。

①報告1 第2回課題検討アンケート（実施期間：令和2年2月～3月）結果について

②報告2 令和元年度多職種研修会（前協議会以降実施分）について

③報告3 各専門部会について

④報告4 令和元年度及び第2期東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会実績について

【委員より】

- ・ACPに活用できるツールが求められているように感じました。ガイドブックに加筆するか、あるいは単体で作成するかなど。
- ・MCSの普及を期待したいです。短期間でここまで活用できているのは素晴らしいと思います。もう少し利用率が上がるとよいと思いました。
- ・課題検討アンケートは、大変だったと思いますが、大変参考になる結果だと思います。今後この結果を活かした活動を計画していかなければならないと思います。
- ・アンケートが実態をどこまで反映しているか若干不安です。例えば居宅介護支援事業所のアンケートで訪問診療を受けている患者数が、当院の場合実際の1割以下です。回答率が63.3%とはいえ、かなり少ないと思います。どのような質問になっているかは覚えていないのですが、実態をどこまで反映しているのか少し不安です。
- ・アンケートはとても細かくわかりやすくまとまっていたと思います。課題検討アンケートは、会議の中で質問内容について検討、意見交換を行ったが、成果がでていると感じました。
- ・認知症の方の支援についての課題や多職種研修会の内容についての意見を知ることができてよかったです。高齢者アンケートについても参考になりました。今後の支援の参考にしていきたいです。
- ・高齢者アンケート調査には回答率を入れてほしかったです。
- ・在宅での看取りが13.3%あり、少しびっくりしました。なぜならば、全国平均が13.6%なので、当市も全国レベルにたどりつけているのだと思いうれしく思いました。
- ・映画「ピア」の上映会は開催して手応えを感じました。「ケアニン」なども可能であれば、ぜひ。
- ・今回は映画でありましたが、様々なツールを用いて在宅医療を知る、考える機会を今後も作る

ことができれば活動の輪の拡大につながるのではないかと思います。

・映画「ピア」は在宅療養についてわかりやすく説明されていて、ストーリーもとてもよかったです。院内で鑑賞したスタッフからもよかったとの感想でした。

・みまもりキーホルダーもかわいくて、つけていても違和感(抵抗)なく使用できると思います。

## (2) 議題

### ① 議題1 令和2年度及び第3期の事業計画(案)について

【事務局】令和2年度及び第3期の事業計画(案)及び令和2年度スケジュール案を提案し、承認の可否及び理由等をお聞かせ頂きたい。アー1)～クー1)までの項目ごとにご記入頂きたい。

#### (ア) 地域医療・介護資源の把握

(提案)

アー1)「東久留米市在宅療養ガイドブック第3版」を作成し、令和3年3月発行とする。

アー2)「東久留米市在宅療養ガイドブック第3版」の内容については、次回協議会で検討する。

(承認の可否)

アー1)・可 14件(100%)

アー2)・可 12件(85.71%)

(理由)

・前回の内容を継続して発行する。変更がある箇所のみ変更することでよいのではないか。表紙等一度決めたら変えない方が高齢者には覚えてもらえる。

・要望を受けてよりよいものが作ればよい。

・とても活用しやすい。

・簡易版のようなものも同時に作れるのが理想かと思う。

・最新の情報を盛り込む必要があるので、過不足がないよう検討してほしい。

・ページ数の問題があるかと思うが、認知症の方への情報もあるとよいと思う。「知って安心認知症」と合体してしまうのもよいかと思う。

#### (イ) 課題抽出と対応策の検討

(提案)

イー1) 第3期でも、実施内容を継続していく

イー2) 第3期では、第2回課題検討アンケートの内容についても検討課題としていく

(承認の可否)

イー1)・可 14件(100%)

イー2)・可 12件(85.71%)

(理由)

- ・継続することが大事である。
- ・課題抽出と検討は状況も変化していくので、常に継続していくべきかと思う。

(ウ) 切れ目のない在宅医療・介護体制の構築

(提案)

ウー１) 第３期でも、実施内容を継続していく

ウー２) 診療体制だけでなく、課題検討アンケートにあるような介護や権利擁護の視点に広げて検討していく

(承認の可否)

ウー１)・可 １４件（１００％）

ウー２)・可 １２件（８５．７１％）

(理由)

- ・ICTツール活用の推進は今後も必要かと思う。
- ・MCSを活用し、情報共有、連携が広がるよう働きかけをしてほしい。
- ・診療体制確立から順次やっていけばよいと思う。

(エ) 医療・介護関係者の情報共有

(提案)

エー１) 「ケアマネジャーからの入院時連携情報シート」の周知継続

エー２) 東久留米市在宅療養相談窓口作成の包括向け「退院支援情報収集シート」の検討継続

エー３) 「るるめネットワーク」の活用促進

(承認の可否)

エー１)・可 １３件（９２．８５％）

エー２)・可 １２件（８５．７１％）

エー３)・可 １３件（９２．８５％）

(理由)

- ・これらの周知徹底と活用拡大が今後の体制に必要だと思う。
- ・多くの職種・機関が活用・移行できる状況を作っていくことが重要と思う。
- ・窓口として、退院支援情報収集シートを使用しやすいよう工夫を重ねていく。
- ・今後も必須になってくるので取り組んでいく。
- ・特にコロナウイルス対策として、活用が必要だと感じる。
- ・促進対策に早急にとりかかっていたいただけると助かる。

(オ) 在宅療養に関する相談支援

(提案)

オー１) 第３期でも、実施内容を継続していく。

(承認の可否)

オー１)・可 １３件 ( 92. 85%)

(理由)

・新たな活用を推進していくような取り組みが必要ではないか。例えば FM 東久留米で在宅療養相談のコーナーを設けるなどはいかがか。

・市民への認知のためにどのようなイベントや広報を行っていくかを決めていくことができればよいと思う。

(カ) 医療・介護関係者の研修

(提案)

カー１) 3密 (換気が悪い・人が密に集まる・不特定多数の人と接触) 対策のとれる研修方法のアイデアを募集

カー２) 前年度延期分の研修や感染症対策の研修の企画実施

(承認の可否)

カー１)・可 １４件 ( 100%)

カー２)・可 １３件 ( 92. 85%)

(理由)

・オンライン研修会になるかと思うが、講演を録画して MCS で配信することができないか検討してほしい。

・少人数に分けたオンライン研修会をやるとよい。20 人以内であれば LINE や Skype その他で無料研修会ができる。

・Web 会議を実施してほしい。参加者同士が精通していれば、踏み込んだ議題も解決できる。20 人くらいが望ましいが現会員数でも可能かと思う。ホスト係が大変だが、場所等 3 密は避けられる。

・資料配布やリモートでの研修のような形でできないかと思う。

・新型コロナウイルス感染症対策で必要だと思う。

・新型コロナウイルス感染症対策のため、新しい研修の開催方法の検討が必要だと思う。

・ZOOM なり、配信なり、視聴覚教材の活用が必要である。

・感染症の研修会は可能だが、参加者を絞らなければならないので、参加者 30 名以内の会を

何回か開くか、オンライン研修会の活用をしてはいかがか。

- ・Web研修会終わってから意見交換、質問等が必要だと思う。
- ・感染症については実施するべきで、窓口としてやるべきなのか迷う。

(ク) 関係市町村の連携

(提案)

クー1) 関係他市町村の良い取り組みなどあれば当協議会へ情報提供ください

(承認の可否)

クー1)・可 13件 (92.85%)

(理由)

- ・新型コロナ感染症の影響で市をまたいだ取り組み、検討をそれなりの規模で行うのは難しいかと思う。現在ある連絡会などで共通案件をくみあげることができればよいと思う。

令和2年度スケジュール案

・可 12件 (85.71%)

(理由)

- ・研修会は、オンライン研修会も含めて検討してほしい。
- ・今後の情勢にあわせ、無理なく開催、進行できればと思う。

【事務局】議題1についてすべての項目において過半数を超えていることから、承認することとする。

② 議題2 新型コロナ感染症拡大防止に関することについて

【事務局】計画案に追加し、本協議会として取り組みたい事項があれば、取り組みたい事項に○を記入し、具体策をご記入頂きたい。

1. 情報収集に関すること

・回答 6件 (42.85%)

(具体策)

- ・医療関係に関しては、MCSに情報をアップしているが、広く公開はしていない。もし必要であれば、整理して公開するが、全てを公開しても情報量が多くて理解するのも難しいかと思う。

そのため、医療介護関連の情報をまとめてもよいかとは思いますが、既に様々なデータベースがあるので、どこを見ればよいかの案内を出すだけでよいのではないかと。

- ・介護事業者には、介護福祉課が定期的にメールで情報発信して下さっている。

2. 職員への感染症についてのマニュアルの周知

- ・回答 3件 (21.42%)

(具体策)

- ・厚労省の「介護事業所等における新型コロナウイルス感染症への対応等について」で基本のマニュアルその他が載っている。訪問形に関する指導のためのビデオも YouTube にもある。

- ・東京都栄養士会テレビ研修会で武蔵野日赤の取り組みの報告があった。

栄養士からの目線だが、コロナ患者が2月に2人から5月に50人となった際の受け入れの院内対応の様子だった。

どのような対応をすることでクラスターを防ぎ、職員の感染予防対策をし、食事を提供し続けていたかがわかった。PDFの資料が手に入ったら送付する。

- ・医療、福祉、介護分野の多職種がおさえるべき PPE (個人防護具)

### 3. 職員への個人防護具の脱着の仕方についての再確認

- ・回答 3件 (21.42%)

(具体策)

- ・東京都保健福祉局の説明及び着脱ビデオが見られる。

「個人防護具の着脱手順書及び動画について」

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/smph/iryo/kansen/shingatainflu/cyakudatsu.html>

- ・訪問看護等専門職から、介護職へのわかりやすい指導

### 4. 介護者(家族)が感染した場合のプラン想定

- ・回答 7件 (50.00%)

(具体策)

- ・早急な対応ができるように、具体的なバックアップ体制の構築

### 5. 職員に感染した場合のプラン想定

- ・回答 5件 (35.71%)

(具体策)

- ・該当なし

### 6. 同職種事業所間でのバックアップ体制の検討

- ・回答 9件 (64.28%)

(具体策)

- ・訪問診療関係では検討中である。

- ・事前に想定した体制の作成とその時点でのケアプランの簡略化
- ・仕組の構築が可能かどうかの前提から検討が必要かと思われる。

#### 7. 感染対策等、対応について疑問が発生した時の相談先

- ・回答 9件 (64.28%)

(具体策)

- ・MSCでQ&Aコーナーを作ってもよい。もしくは全員参加のページで質問してください。
- ・市内での相談先の明文化
- ・相談先とされる保健所等で具体的な指示が受けられなかった事例を耳にした。

#### 8. その他 (自由意見)

- ・回答 0件 (0%)

(具体策)

- ・該当なし

#### (3) 今後の予定について

【事務局】次期委員について、各団体にご推薦のお願いしている。次回協議会は、8月～9月末頃を予定しているので次期委員の方へ本協議会の内容についての引継ぎをお願いしたい。

以上で第2期 第6回東久留米市在宅医療・介護連携推進協議会を閉会する。